

WATCH the NEWS

構成：早川加奈子



★「ジュテーム」坪倉唯子 / 2000年秋迄 / BMGビクター

INTERVIEW

坪倉唯子

今は恋の歌を歌いたい。だから「ジュテーム」

85年にデビュー以来、着実にヴォーカリストとしての地位を確立しつつあるシンガー坪倉唯子。桑名晴子との出逢いがプロデビューのきっかけとなった彼女は、アン・ルイス、中原めいこ、中島みゆきなど数多くのアーティストのレコーディングやツアーに参加してきた実力派である。最近では近藤房之助、栗林誠一郎、M・K・Eらと共に参加したBIGクイーンズが挙げられる。そんな彼女の最新アルバム「ジュテーム」について話をしてみた。

「アルバム「ジュテーム」は前々作「ラヴィングユー」に質感が似ていますね。メディアム・テンポなところが。」

「似てると思う、楽曲といい歌い方といい。それはプロデューサーを含め周りから求められてたし。でも私はそれでは満足できなかったの。『WANNABE MY SELF』というアルバムを少人数規模で自分の満足を満たすべくすべてを把握して制作してみたいです。で出来上りを聞くと「ラヴィングユー」の質感がいいと言っ人が多くて。私は「WANNABE」はそれはそれで気に入ってるんですが。やりたいことと人の求めてくるのが違うな、と困ってしまったんです。それらをミックスさせてシンガー坪倉唯子というものを作りたいから「WANNABE」を作ったんですけど、今の私には無理かな、と。何もムリに混ぜることはないし、今までの私のやり方でいくと偶然混ざった時がいい時かなと諦めがついたという決心がつけちゃったんです。メディアム・テンポからバラード

を歌うと自分も気持ちいいし、好きだと言ってくれる人も多いのでこれはやってみたい。色々騒がしいコトもやってきたし、年齢的にも落ち着いてきたしね。」

「そういうことも含めて「ラヴィングユー」「WANNABE」「ジュテーム」は3部作だなという気がしますね。受け身だけど情熱的な時期↓自分のアイデンティティを見つめ直す時期↓静かな感情を持ち始めた時期という風に一人の女性の恋愛史という感じがします。当たってるかもしれない。本当にそうやって生きてきた。」

「「ジュテーム」というタイトルも愛の言葉ですけど、フランス語ですね。今まで出してきたアルバムはほとんどが愛を主題にしたものだったのでフランス語版のアイラヴユーもいいな。将来的には社会的なものも思ってますが今はとにかく恋愛してる女の子の気持ちを歌ってみたいから。」

「「ジュテーム」には「ラヴィングユー」の中の曲が2曲リメイクで収められていますね。中島みゆきさん作詞の『courageの夜心風』と『SOLITUDE Bitter』。」

「プロデューサーの意向だったんです。最初嫌だったんですけど、もう一回リメイクして歌うってどういうことだろうと考えて。とり敢えずやってみて自分の中で消化されてなかったらダメだったと直訴しようと思ったんです。で、やってみたら色々変化の差が見られたし、そういう風に成長を残しておくのもいいかな、と思ったんです。」

フランス映画に観る

ファミ・ファタール

宿命の女

ベアトリスカビノシュカシャルロットか!?

『ベティ・ブルー 〈インテグラル〉』『ダメージ』『愛されすぎて』
『ローラ』『ロシュフォールの恋人たち』『シェルブールの雨傘』

ジャック・デュミの永遠の三部作も上映。

1993年京都はパリ化するか!?



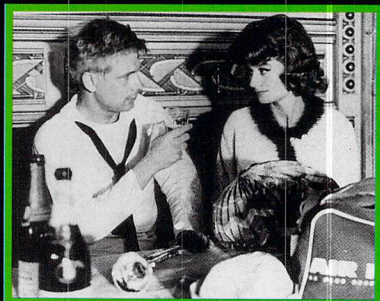
←『ダメージ』/5月22日(土)0:00AM/0:00PM/10:00PM
終映/尚みなみ会館/一般1700円/075・315・7001



←『ベティ・ブルー 〈インテグラル〉』/6月
公開予定/尚朝日シネマ/一般1700円/075・6760414

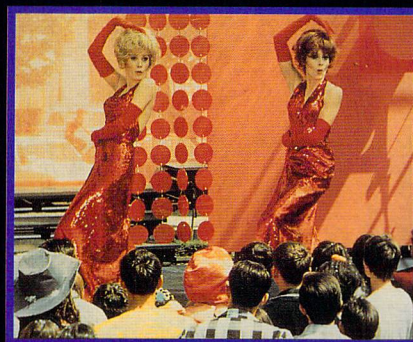


←『愛されすぎて』/6月5日(土)尚うめだシネマウ
エリテ/前売一般1400円/06・361・4310
シネマウエリテ



←『ローラ』/6月16日/6月16日/尚
なみ会館/未定/075・661・3993

「ローラ」



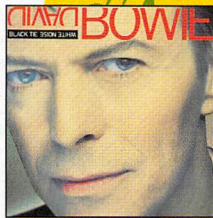
←『ロシュフォールの恋人たち』
『シェルブールの雨傘』/6月6日/6月
12日/尚みなみ会館/未定/075・661・3000

「ロシュフォールの恋人たち」

今月の

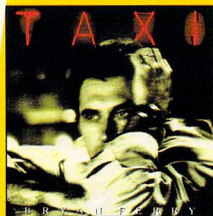
これを
聴かないで
どうする!!

By 永岡正直 (京都店店長)



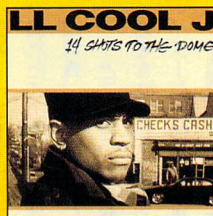
DAVID BOWIE / BLACK TIE WHITE NOISE ¥1,890

覚醒と孤高のヒーローが久しぶりに帰ってきた。その時代時代を彩ってきたボウイのプランニューワールド。最新型のボウイです。



BRYAN FERRY / TAXI ¥1,890

ポップス界の伊達男、ブライアン・フェリー。流行に関係ないセンスの良さが光ります。スタイリッシュなサウンドは健在。



LL COOL J / 14 SHOTS TO THE DOME ¥1,890

スナイパー、クールJが放つ14ショット! ホットだけどクール、ターゲットを絞ったメッセージナンバーはひたすらカッコ良い!!



LEVERT / FOR REAL THO' ¥1,890

プロデューサーとしての評判も◎。通好みもうならせる実力派3人組。前作より一層ダンサブルな仕上がります。とてもヒップな一枚。

京都店

河原町ビブレ6F Tel. 075-212-7058

OPEN: A.M. 11:00 - P.M. 8:00

大阪店

心斎橋アメリカ村 Tel. 06-211-2997

OPEN: A.M. 11:00 - P.M. 9:00 (土日のみ10:00 OPEN)

TOWER RECORDS

L.A. CHICAGO BOSTON NEW YORK LONDON
SAPPORO SENDAI NIIGATA
IKEBUKURO SHINJUKU SHIBUYA HACHIOJI
YOKOHAMA KAWASAKI NAGOYA
KYOTO OSAKA HIMEJI HIROSHIMA

フランス映画で描かれる女達は、その多くが情熱的で、暴力的なまでに愛に貧欲で、そして破滅的な生き方をしようとする。彼女達は『宿命の女』と呼ばれ、フランス・ヌール、ジャンヌ・モロー、アンナ・カリナ、ジーン・セバーグなどの女優がその典型かもしれない。そんなフランス映画界の90Sの宿命の女一人ヘアトリスタルのデビュー作『ベティ・ブルー』の完全版『ベティ・ブルー / インテグラル (完全版)』が公開される。実は、再編集作品については本来は否定的に考えている。幾ら商業的理由で仕方なくとはいえ、編集することも創造の「環」であり、監督はその作業と作品に全責任を負うべきだし、第一潔ぎよくない。だがファム・ファタールであるベティが明確に描かれているという点で、このリメイクは肯定したい。様々なエピソードが約1時間加えられたことで人物描写が丁寧になり、ベティの心理推移もエキゼントリックだけでなくリアリティが増す。見逃していた人は従来版は観なくていい、これだけを観てほしい。そし

て既に前作を観た人にも是非観ることを薦める。もう一人のファム・ファタールといえはジュリエット・ピノシユ。クロード・バーク映画の顔ジェレミー・アイアンズと共演したルイマルの新作『タメシ』で『ラストタンゴ・イン・パリ』を彷彿させる官能の物語を演じている。順風満帆政界議員は息子の恋人と魅かれ合うようになり、2人は余りにも危険な情事に溺れてゆく。彼らのセックスはお互いの生そのものであり、破滅だけが待ち受けている。それはバタイユのエロティシズムの如く常に死を予感させる。ピノシユ、アイアンズ共に官能的とはいえない役者ゆえに、この2人の間の愛においての肉体は媒介するものに他ならず、真意はさらに奥深くに存在するという説得力は充分だ。驚りのあるピノシユの美しさが冴えた作品でもある。

イヨン監督の『愛されすぎて』で、感情に左右されないで、自由に人を愛することを願う自立した女マリーを演じている。実父セルジュ・ゲンスブールの死の直後に撮影された作品であり、彼女の科白の一つ一つがリアルだ。実生活の恋人であるイヴァン・アタルとの共演第2弾でもあり、父違いの姉ケイト・パリー(つまりジェーン・バーキンとジョン・パリーの娘が助監督・衣裳を担当し、義父ドワイヨン監督の長女ローラがオペレーター見習いで制作されたということも、この映画でのシャルロットをより等身大に見せてくれる。二人の男に愛されながらそのどちらかを選ばなければならない微妙なマリーという役割もピタリとハマっている。このヘアトリスタル、ジュリエット・ピノシユ、シャルロット、ゲンスブールといった次代のファム・ファタールの前に外せないのがカトリーヌ・ドヌーフという女優。『インドシナ』でも女として最後の輝きを放つエリアヌを演じた美しさを演じ、宿命の女を強烈に匂わせていた。そんな彼女のあまりに

も有名な『シエルブルの雨傘』が『ローラ』、『ロシユフォールの恋人たち』と共に上映される。3作は名匠ジャック・ドワイヨンの永遠の3部作と言われ、ミッシェル・ルグランの音楽も愛らしい作品達だ。そして3部作といわれるだけにこの3つには共通項がある。『ロシユフォール』の水兵は『ローラ』の水兵となりナントからシエルブルへ移り、『シエルブルの』へとつながってゆく。他にも幾つかあるのでこの機会に見てみるのも面白い。とにかくこの3本はお洒落でキュートで美しい。音楽も女優もストーリーも今もなお鮮明に輝く。『ローラ』のアンヌ・エーメは筆舌に尽くし難い位可愛くて美しい。『ロシユフォール』は観る者を幸せにさせることだろう。

またフランス映画といえはこの人、『ダールの作品も上映予定。『未来展望』『気狂い、ヒロ』『勝手にしやがれ』が予定されている。尚、これらフランス・シネマ上映に際して、ちょっとしたおまけもあるかもしれないので、期待してもいいかもしれない。

MURATA KAZUHI

村田和人 INTERVIEW



HELLO AGAIN / 村田和人 / 3,000円
税込 / ビクター音楽産業

じっくり時間をかけた伸びやかな気持ち良さ

2年半振りにオリジナルアルバム「ハローアゲイン」を発表した村田和人。ウエストコーストの爽やかな快適さが溢れたこのアルバムは、山下達郎、杉山清貴、山根麻衣などゲストも豪華だ。ところで、結構昼と夜が逆、の生活をされているようですが(笑)、曲のイメージと随分違いますよね。

「人間と!?」(笑)そうですね。話す内容と声と歌ってる声とがまた違っていて、それぞれが違う方向を差し示しているところ」

——湿度の高い日本の日常とは違うサウンド世界、ですよね。そういう意味で非日常的なので、逆に村田さん自身の日常が知りたくなりますが。

「割と普通じゃないですか。それにずっと東京でしたからね。でも下町なんです。東京の人間は山手線の内側に入った「チャイケナイ」という、いわゆるチャラチャラとお洒落な格好はしちゃうイケナイというよつな所で育ったんですよ。周りに自然があったりね。だから東京のペース、都会的なペースとか、近代的なのはダメなんです。それで伸びやかな音楽に魅かれちゃうんですね。そっちの方が肌に合ってるっていうかね。コンピューターでチマチマやるよりも、スコーンとこういう方ですよ」

——今回の「ハローアゲイン」は日本での録音ですが、ロスで録音されることも多いですよね。その違いとは？

「あっぱのミュージシャンを使うと、話が早いんですよ。僕の音楽の場合、70年代〜80年代の白人音楽が基本になっちゃうので、向かうのミュージシャン

ならそういう音楽を聴いて育ってるわけですから、僕の作ったデモテープを聴いて、「こんな感じなんだけど何かアイデアある？」という感じで言っと、「OK、任せて」という風にてきちやうんですよ。日本だと、例えば「ドゥービー・ブラザーズ」のあの何曲めの曲知ってる？あの雰囲気出したんだよ」って伝えなきゃならないですね。その点向こうの人だと小さい頃から聴いて育って血の中にそういう音楽が入ってますから、はっきりとした意思表示をすれば早いんです。でもね、お金をかけてこのミュージシャンを使えばいい物が作れる、と安易に考えて行くと失敗するんですよ。例えばアイドルの子のためのレコーディングだとすれば、「こういうイメージが欲しいから、貴方達からこういうものを引き出したいんだ」という具体的な注安をしないと、お仕事的になってしまうんですよ」

——今回ははっきりとした作りたいものがあつたんですか。

「それはもうありました。だから音を聴いた時に描かれる色合い、を確かめて作りたかつたんです。例えばこの曲はピンクにしたいと思ってたのに黒が入っちゃうともうピンクにはならないですよ。要素として赤と白を中心にしなきゃならないですから。そこで外しちゃうともうピンクになり得ないですよ。だから確かめながらアルバム作りを始めたわけですよ。(レコーディングの作業を始めた時にドラムとベースのリズム隊を、自分の満足がいくまでコンピューターで打ち込んだんですよ。

そのリズム隊が納得できた段階で、その上に重ねる作業に入ったんです。だからドラムは実は全部コンピューターなんです。ベースは後で人間が演奏したものですけどね。このリズムの基本が自分の行きたい方向にしっかり向いていれば、後は多少ズレたところにギターなんかが行った、としても、必ず自分の欲しい色合いのところに向って着くだろう、というね」

——それだけ作りたい方向がはっきりしていたのなら、むしろロスで録った方が？

「そうですね、その方がいいんですけど。ここ2〜3作は違う人によってもらったんですが、今回は自分でフロデュース、アレンジをしたというのがありましたから、自分のやりたいと思ってることをしっかり確認してからやってかないと満足できないかもしれないと思つたんですよ。向こうに行って録るとバンド的なやり方で、「せーの」と一発で録ることも多くて、時間は短くてすむんですけどやり直しがきかないというのがあるんですよ。みんな忙しいミュージシャンばかりですから。そういう意味の失敗はしたくない、というのがあつたんです。今回2〜3ヶ月かけて録音したんですが、週3日位づつ感じて、3日レコーディングしたらその残りで次の週のレコーディングのことを考える、という方法で、じっくりとアルバムを作りましたね」

●6月18日(金)7:00PM / 向大阪バナナホール @ 06-3361-6881

WHAT'S NEWS?



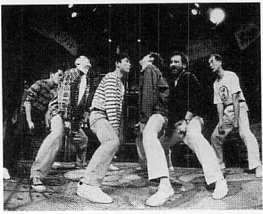
「JB'Sファイチャーリングメシオ・パーカー」5月31日(月)7:00PM / 尚ク
ライブアクト / 6,000円(前売5,500円)田(1)ロウ / 06・281・
0900

JB'S、スウェード、 アンテナなど盛り沢山。

初夏だ梅雨に負けずに外へ出て楽しもう。FM802のヘビイローテーションでブレイクのコレクターズ。久々の京都でのライブも楽しみだが、V.O加藤ひさしがDJで参加のオリジナル・サウンド・ドラッグもある。東京クレストコンボの演奏、ピチカート・ファイヴの小西康陽、クルエル・レーベルの龍見憲司、サウンド・インボシブル他のDJでスイートでポップなクルーなグルーヴが楽しめるパーティ・ナイトだ。本格的にブルース・ブーム到来か?と秘やかに囁かれる近頃。リトル・ミントン、ルーファス・トーマス、憂歌団が出演、ジャパン・ブルース・カーニバルはマニア、新参者、いずれのファンもマスト・チェック。ジエイムス・ブラウンのバックを勢め、ザックス・マシーン」の名を持つメシオ・パーカー率いるJB,Sファイチャーリング・メシオ・パーカーも見逃すな。ヴァン・モリソンなどの仕事で知られるアルフレッド・ビー・ウィー・エリス(S)、フレッド・ウエズリー(他)と

メシオ・パーカーのトリオにリン・コリンズをスペシャルゲストに迎えた豪華なファンキー・ナイト♪昨年の来日公演も大好評だったJB,S。ジャズのエッセンスがファンクなグルーヴを一層盛り上げる熱いノリはさすがJBの強力ホーン・セクション、ということ。御大ジエイムス・ブラウンの先日の来日公演を観た人もそうでない人もJB,Sへ行くべきだ。元スローイング・ミュージズのギタリスト、タニヤ・ソネリーの新バンド、ベリイが来日。タニヤの、決してウエットではないセクシーなV.Oと、ポップなギター・ロックが新鮮だった1stアルバム「スター」がどんな風にライブで再現されるのかお楽しみ、といったところ。何とジュリアナ・ハットフィールドと共演、というおまけ付き。女性ミュージシャンはがんばっている。そう、先月もお知らせしたシャーデーも必見これ当然。ライブならではのかなりジャジーな演奏、アルバム「ラヴ・テラックス」で

ますます冴える官能V.O、シャーデー自身もよりセクシーになって私達の前に現れることだろうという期待も含め、行かずにいられない公演のひとつ。また京都公演は初めて、イザベル・アンテナは七夕の夜に。アルバム「とまどいの瞬間(モメント)」では、ブラジルやサルサの匂いを強く感じるサウンドを聴かせてくれた彼女。スタイリッシュなアンテナを持つ女性でもあるアンテナが姉妹都市パリから初入浴、要チェック。ユニークでデジタルなライム&サウンド／グルーヴを聴かせる電気グルーヴも楽しめますね。エキセントリックでグラマラス、と既に話題沸騰のスウェード待望の初来日。美形V.Oフレッド・アンダーソンは今が旬だ、見どころだ。5度目の来日のフィリップ・ジャンティ・カンパニーが、新作「FORGET ME NOT / 忘れな草」を手土産にやってくる。毎回不思議な演出とパフォーマンズを見せてくれる彼ら。今回はいかなる夢を見せてくれるのだろうか、と期待大。今月も色々充実した月になりそうだ。



好評につき、
またまた関西に
やってきた。
カクスコの大坂公演。

昨年暮れの大坂初公演「年中無休」が大好評だった、男だけの芝居集団カクスコ。ファンにとってはお待ちかねの2回目となる大坂公演が6月に行われる。題して「廊下は静かにノ〜サツキ荘の初夏〜」。陽気なところが良いボロアパート、サツキ荘。そこで繰り広げられる、6人の男たちのあつげらんとした日々物語。色気はないが笑いがあるのだ。必見。

●カクスコ大坂第2回公演
「廊下は静かにノ〜サツキ荘の初夏〜」
6月11日(金)13日(日)近鉄アート館
前売3,000円 当日3,200円
問い合わせ・06-6292-2222
チケットぴあ・チケットセンター他



7月17日よりシネマヴェリテで公開予定。

最低にして最高！ここまで来たかホラーコメディ。
NZの鬼才が贈る「ブレインデッド」。

これでもか、これでもかノってな映画だ。本国ニュージーランドで大ヒット、その残虐さにアメリカでは17歳以下お断り。アヴォリアッツ他数々の映画祭でグランプリに輝く史上空前の血まみれムービーである。というところだが、監督はクロネンバーグ以来の鬼才といわれるピーター・ジャクソン。時は1957年。スマトラに生息する珍獣「ラットモンキー」を、ある学者が本土に持ち帰ろうとしたことから物語は始まる。この凶暴な猿に噛まれた人間は強引にもゾンビに変身するのだ。学者は襲われ、そのまま猿はウエリントン郊外。情熱的な恋を夢みる娘ハキータは、タロット占いで運命の男と出た青年ライオネルを追っかかまわす。しかし彼はこころ優しいが母親とふたり暮らしの超マザコン青年。パキータと付き合うのが気に入らない母親は2人のデートに付きまとい動物園まで跡をつける。

とそこでラットモンキーに噛まれるという事件発生。ここからストーリーは一気にぐちゃぐちゃグレゴロの世界に突入するのだ。監督はスプラッターだけではもの足りないのか、数々のタブーをも破っている。神父殺しに幼児虐待これ、相手は皆ゾンビなんだけども、見て見てここまでやったのよ！と言わんばかりの大騒ぎ。素敵だ。傑作なのはゾンビになった人々を殺せずに悩む気弱なライオネル。部屋に飼って(?)食事させ、おまけにゾンビが生んだゾンビベイビーの子守までしちゃうんだからオイオイってな感じなのだ。クライマックスでライオネルがゾンビを切り刻み戦う場面ではバックにフルツが流れ、そして最後の大きな戦いが背後に待ちうける。果して彼はパキータを救う事ができるのか!?どうでもいって気もするが、SFXの見事さとディテールの充実はなかなか。頭をカラッポにしてゲラゲラ笑って観るのがよいぞ。

増大する
エントロピーに
もの申す。

リスノチズルらが
生み出すメッセージ。

ソウル、レゲエ、サルサ、ジャズなどの音を無節操に取り入れ、和風のスパイスで味つけたダンスミュージックをメッセージするリスノチズル(Soul Tee Jayes)。大前チズルと山川良夫を中心としたこのユニット、5月の大阪クワトロでのライブは、元Mr. Pupaの吉田ただす率いるCHUNKYのセッションだ。また京都のRAGでは、大前VS吉田が2日間連続でこのギクも行つ。詳細は左記まで。

●大前チズルVS吉田ただす&DAYS
5月23日(日)ライブスポットRAG
問い合わせ・075-241-0446
5月24日(月)クラブクワトロ
問い合わせ・06-281-8181

お待たせ第2弾！サタデー・ナイト・ライブ。
人気御三家レギュラーが登場。

第1弾傑作選ビデオの発売で、ようやく本格的な人気が出たサタデー・ナイト・ライブ。ついに第2弾が登場だ。今回はより豪華に、人気レギュラー5タ1別で3本同時発売。その強力なラインナップは、SNL初期からゲストホストとして最多出演のステイブ・マーティン。映画ではシリアスな演技が目立つが、ここでは絶対トーク&強力パフォーマンズで笑わせるロビン・ウィリアムス。そしてラストは物マネとウィットな語り口、映画「恋人たちの予感」でもお馴染みのビリー・クリスタルだ。SNL看板スターが完全チェックできるこの3本は5/28発売。

●サタデー・ナイト・ライブ
「ステイブ・マーティン・スペシャル」「ロビン・ウィリアムス・スペシャル」「ビリー・クリスタル・スペシャル」(各29アメリカ/カラー/12,800円)

君は君のまま、僕のまままでいたい。迷う、揺れる、悩む。6人の高校生の物語。

「友達以上、恋人未満」。この微妙であやういシチュエーション。だからこそそこから生まれる物語のなんと数多く、そして切ないことか。白羽弥仁監督の「シース・レイン」はそんな思いを忘れかけた大人に観て欲しい映画だ。主演は小松千春。彼女扮するレイコは、何でも話せるユイチ(染谷俊を次第に意識するようになる)が気持ちをつまきり出せない。そこへユイチの幼なじみユウコ(菊地麻衣子)や様々な人間関係がからんで……というお話。いつの時代も変わらぬ青春ストーリー。だが神戸を舞台とする主人公たちの生活は、超ハイソで決してフツではない。敢えて「ゴージャス」を撮ることで邦画を変えたいという弱冠20才の監督の意欲作である。

●シース・レイン
5月15日より祇園会館にて公開中。

